



平成二八年度 秋田県消防功労者表彰式



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二八年度秋田県消防功労者表彰式は秋田県及び一般財団法人秋田県消防協会の主催により、三月一六日(木)午後一時半から、秋田県庁第二庁舎(秋田市山王)で開催されました。式には、受章者など一五〇人が出席しました。

式典は、最初に堀井啓一秋田県副知事が式辞を述べた後、消防庁長官表彰として永年勤続功労章の伝達、秋田県知事表彰として東成瀬村に無火災表彰が行われたほか、日本消防協会定例表彰として、表彰旗、竿頭綬、功績章、精績章がそれぞれ伝達されました。

続いて、中田潤秋田県消防協会長の挨拶、来賓を代表して近藤健一郎秋田県議会副議長が祝辞を述べ、最後に受章者を代表して板橋和男・鹿角市消防団副団長が謝辞を述べました。

皆様には、災害から県民の生命と財産を守るため、昼夜を分かたず御尽力いただいております。心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

本日は、消防・防災の分野で多大な御功績を挙げられた方々や、昨年一年間、無火災を達成されたことに対して表彰を行います。

受章される皆様に心からお祝い申し上げますとともに、消防・防災活動を支えられた御家族や関係者の方々に對しまして厚く御礼申し上げます。

本県においては、昨年、熊の襲撃による人的被害のほか、台風や暴風、竜巻、大雨などの被害も発生しております。

県では、本年度、近年発生した災害やその教訓を踏まえ、秋田県地域防災計画を見直したところであり、今後とも、県民の安全・安心の確保のため、災害に強い地域社会の構築を



秋田県副知事
堀 井 啓 一

式 辞 (要約)

平成二十九年 全国統一防火標語
火の用心
ことばを形に
習慣に

目指し、各種防災対策の充実に取り組んでまいります。

皆様におかれましても、地域防災力の一層の強化に向け、引き続き、御支援、御協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本日表彰を受けられます皆様には、今後も、健康に留意され、豊かな知識と経験を若い世代に伝えながら、強固な消防組織づくりを期待いたしますとともに、地域の安全安心確保に向け、なお一層、御活躍されますことを心からお祈り申し上げます。式辞といたします。



一般財団法人
秋田県消防協会 会長
中 田 潤

挨 拶 (要約)

栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

東日本大震災から早いもので六年が経過しました。あの震災における消防職・団員の懸命な活動は、国の内外から高い評価を頂きましたが、残念ながら多くの殉職者を出してしまいました。誠に痛恨の極みであります。

あのようなことを決して繰り返さないためにも、東日本大震災の体験を教訓として、消防体制の整備を更に進めて行かなければなりません。

一方、県内の災害の発生状況のみ



秋田県知事表彰



消防庁長官表彰伝達

援賜りますよ
うお願い申し
上げ、お祝い
の言葉といた
します。

本日受章されました皆様には、これからも地域の消防防災リーダーとして、それぞれの分野でご活躍、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

私たちが消防人は、県民の安心・安全確保という強い願いに込めていくため、一層高い士気の下に訓練を重ね、地域との連携を更に深め、より強靱な体制を構築して、あらゆる災害に立ち向かってまいる所存であります。



受章者代表謝辞



日本消防協会表彰旗伝達

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (1名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防正監 泉 篤

◆永年勤続功労章 (71名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防監	石井清樹	大曲北広域市町村圏組合消防本部	消防監	齊藤 聡
由利本荘市消防本部	消防監	畠山 操	秋田市消防本部	消防監	保坂重彦
にかほ市消防本部	消防司令長	伊藤伸司	由利本荘市消防本部	消防司令長	齊藤郁雄
秋田市消防本部	消防司令長	佐々木康夫	横手市消防本部	消防司令長	菅谷和明
大館市消防本部	消防司令長	高橋幸一	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	高橋義浩
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	武石 稔	能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	田森三喜男
北秋田市消防本部	消防司令長	中嶋 誠	秋田市消防本部	消防司令長	前田康博
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	三浦和也	鹿角広域行政組合消防本部	消防司令	田中政幸
湖東地区行政一部事務組合消防本部	消防司令	千田 貢	大館市消防本部	消防司令	豊間 勇作
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令	吉田 強			
鹿角市消防団	副団長	板橋和男	鹿角市消防団	副団長	児玉忠幸
大仙市消防団	副団長	佐々木正光	横手市雄物川消防団	副団長	佐藤 進
由利本荘市消防団	副団長	佐藤義一	横手市十文字消防団	副団長	柴田和久
東成瀬村消防団	副団長	平良 肇	大瀬村消防団	副団長	三浦 修
秋田市消防団	副団長	山内隆一	にかほ市消防団	副団長	横山 功
羽後町消防団	分団長	池田耕一	藤里消防団	分団長	伊藤千宏
大仙市消防団	分団長	伊藤俊雄	由利本荘市消防団	分団長	伊藤 博

由利本荘市消防団	分 団 長	遠 藤 信 弘	由利本荘市消防団	分 団 長	大 友 仁 志
秋田市消防団	分 団 長	利 部 敏	仙北市消防団	分 団 長	門 脇 成太郎
仙北市消防団	分 団 長	草 薨 良 孝	男鹿市消防団	分 団 長	児 玉 利 則
秋田市消防団	分 団 長	斎 藤 嘉 憲	秋田市消防団	分 団 長	佐々木 準 一
横手市平鹿消防団	分 団 長	佐々木 利 廣	横手市増田消防団	分 団 長	佐 藤 一 生
男鹿市消防団	分 団 長	佐 藤 和 春	男鹿市消防団	分 団 長	佐 藤 定 久
八峰町消防団	分 団 長	佐 藤 孝 之	大仙市消防団	分 団 長	佐 藤 昇
大仙市消防団	分 団 長	佐 藤 誠	五城目町消防団	分 団 長	佐 藤 米 吉
大館市消防団	分 団 長	菅 原 新 一	大館市消防団	分 団 長	菅 原 仁
能代市消防団	分 団 長	簾 内 由 雄	大仙市消防団	分 団 長	高 橋 昇 一
美郷町消防団	分 団 長	高 橋 秀 勝	仙北市消防団	分 団 長	田 口 志 良
大館市消防団	分 団 長	武 田 健 一	秋田市消防団	分 団 長	鶴 田 一 成
潟上市消防団	分 団 長	徳 原 一	北秋田市消防団	分 団 長	戸 島 昭 彦
北秋田市消防団	分 団 長	戸 島 丈 夫	潟上市消防団	分 団 長	奈 良 仁 寿
小坂町消防団	分 団 長	成 田 高 雄	大仙市消防団	分 団 長	新 田 信 夫
能代市消防団	分 団 長	原 田 美 徳	横手市大森消防団	分 団 長	平 野 豊
湯沢市消防団	分 団 長	藤 岡 俊 一	大館市消防団	分 団 長	藤 島 則 秋
横手市大雄消防団	分 団 長	古 内 良 美	井川町消防団	分 団 長	宮 田 満
八郎潟市消防団	分 団 長	村 井 衆 正	能代市消防団	団 員	加賀谷 一 彦

◆竿 頭 綬 (1 消防機関・1 消防団)

秋田市消防本部・秋田市消防団

秋 田 県 知 事 表 彰

◆無火災表彰 (1 村)

東 成 瀬 村

日 本 消 防 協 会 長 表 彰

◆表 彰 旗 (1 消防団)

横手市十文字消防団

◆竿 頭 綬 (3 消防団)

潟上市消防団
仙北市消防団
横手市雄物川消防団

◆功 績 章 (20名)

鹿角市消防団	副 団 長	児 玉 忠 幸	北秋田市消防団	副 団 長	北 林 昭 男
大館市消防本部	消 防 監	佐 藤 久 仁	大館市消防団	部 長	高 橋 直 美
三種町消防団	副 団 長	工 藤 金 晴	能代市消防団	分 団 長	佐 原 操
潟上市消防団	副 団 長	菊 地 栄 一	八郎潟町消防団	副 団 長	嶋 山 敏 夫
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	工 藤 琢 磨	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	亀 谷 成 利
由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 治 円	由利本荘市消防団	分 団 長	大 友 仁 志
美郷町消防団	団 長	高 橋 正 尚	大仙市消防団	副 団 長	小 松 喜 一
仙北市消防団	副 団 長	林 崎 久	横手市雄物川消防団	副 団 長	佐 藤 弘
横手市十文字消防団	副 団 長	齋 藤 孝 悦	横手市平鹿消防団	副 団 長	国 安 孝 夫
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 廣	湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 久 一

◆精 績 章 (47名)

鹿角市消防団	副 団 長	板 橋 和 男	鹿角市消防団	分 団 長	佐 藤 隆 夫
鹿角市消防団	分 団 長	大 西 照 雄	大館市消防団	分 団 長	三 政 薫
大館市消防団	分 団 長	日 景 賢	大館市消防団	部 長	佐 藤 妙 子
北秋田市消防団	副 団 長	佐 藤 修 助	大館市消防本部	消 防 司 令 長	高 橋 幸 一
北秋田市消防本部	消 防 司 令	小 林 喜 博	八峰町消防団	副 団 長	菊 地 直 人
能代市消防団	分 団 長	原 田 美 徳	三種町消防団	分 団 長	小 林 憲 夫
能代市消防団	分 団 長	簾 内 由 雄	男鹿市消防団	副 団 長	吉 田 陽 一
潟上市消防団	分 団 長	菊 地 啓 一	八郎潟町消防団	分 団 長	伊 藤 洋 一
井川町消防団	分 団 長	櫻 庭 新 一	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	片 岡 哲 郎
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	菊 地 正 人	秋田市消防団	分 団 長	高 橋 清 功
秋田市消防団	分 団 長	保 泉 隆	秋田市消防団	分 団 長	上 野 綱 一
秋田市消防団	分 団 長	高 橋 良 一	由利本荘市消防団	分 団 長	村 上 吉 和
由利本荘市消防団	分 団 長	釜 台 敏 勝	由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 一 弘
にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 幸 毅	にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 雄 一
にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 正 勝	大仙市消防団	副 団 長	富 樫 正 一
仙北市消防団	分 団 長	田 口 志 良	仙北市消防団	分 団 長	草 彌 良 孝
大仙市消防団	副 団 長	佐 藤 剛 司	美郷町消防団	副 団 長	齊 藤 一 夫
大仙市消防団	副 団 長	茂 木 勸之丞	横手市雄物川消防団	副 団 長	佐 藤 進
横手市雄物川消防団	分 団 長	児 玉 悦 朗	横手市十字消防団	副 団 長	柴 田 和 久
横手市十字消防団	分 団 長	齋 藤 和 夫	横手市大森消防団	分 団 長	平 野 豊
横手市雄物川消防団	分 団 長	皆 川 勝 雄	羽後町消防団	分 団 長	池 田 耕 一
湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 政 介	湯沢市消防団	副 分 団 長	古 関 功 一
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	高 橋 正 俊	湯沢市消防団	副 分 団 長	林 崎 隆 一
湯沢市消防団	副 分 団 長	栗 田 政 一			



消 防 団 員 募 集

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。



わたしが
じつは
消防団員。

あなたの住んでる街のために、
あなたのチカラをかせてくれませんか。

消防団員募集

消防団に関する詳しい情報は <http://www.fdma.go.jp/syoboden/>

消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員の減少で、地域防災力の低下が懸念

本県の消防団員数は、昭和31年には3万6千人が在籍していましたが、年々減少し続け、平成28年10月1日現在には半分を割り込み、1万7,279人となりました。

地域の消防防災力の低下が懸念されています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。

一人でも多くの方に、消防団活動に参加いただけることを期待しています。

平成29年度主な事業計画

事業項目	実施時期
第1 消防思想普及啓発事業	
1. 火災予防運動の推進	年間
2. 防火ポスターコンクールの実施	平成29年6月～
3. 殉職者慰霊に関する事業	
(1) 秋田県殉職消防職・団員慰霊祭	平成29年8月23日
(2) 全国消防殉職者慰霊祭	平成29年9月14日
4. 広報紙の発行とホームページの開設	
(1) 新聞「消防秋田」の発行	毎月1回(1,100部)
(2) ホームページでの情報提供	年間
第2 地域消防防災力向上推進事業	
1. 消防団員の教養研修	
(1) 現地教養研修の実施	年間
(2) 秋田県消防大会の開催 (秋田市)	平成29年7月22日
(3) 各種研修会等への参加	
・女性消防団員教育訓練	平成29年10月28日～29日
・全国女性消防団員活性化広島大会	平成29年11月16日
・消防団員指導員研修	平成29年11月25日～26日
・消防団幹部特別研修	平成30年1月9日～12日
・消防団幹部候補中央特別研修(男性)	平成30年1月31日～2月2日
・消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成29年2月14日～16日
2. 消防操法大会の開催	
(1) 秋田県消防操法大会	平成29年9月2日
(2) 全国女性消防操法・秋田大会	平成29年9月30日
3. 消防団活動の活性化	
(1) 女性消防団ネットワーク会議の開催	平成29年11月
(2) 消防団長研修	平成29年12月1日
第3 消防職団員福利厚生事業	
第4 消防互助会事業	
第5 会議の開催	
(1) 定時評議員会	平成29年5月25日
(2) 理事会	年3回開催
(3) 会計監査	平成29年4月21日
(4) 消防実務担当者会議	平成29年6月9日

秋田県消防協会第三回理事会が三月一六日(木)、秋田市の「ルポールみずほ」で開催され、平成二九年度事業計画(案)や収支予算(案)などが承認されたほか、秋田県消防操法大会に「予備日」を設けることなどについて協議されました。

**平成二九年度
事業計画・収支予算
承認される**

秋田県消防協会

平成29年度収支予算

(単位:円)

勘定科目・主な事業費	予算額
事業活動収入計	30,078,600
消防互助会掛金	5,610,000
事業収入	291,000
補助金等	12,874,000
負担金	5,042,000
年会費	5,745,000
その他収入	516,600
事業活動支出計	35,759,000
火災予防運動の支部活動費	900,000
消防思想普及啓発費	2,607,000
秋田県消防大会費	811,000
女性消防団員研修費	212,000
秋田県消防操法大会費	1,479,000
支部消防操法大会助成費	900,000
全県消防団長研修会費	326,000
女性消防団ネットワーク会議費	445,000
消防互助会見舞金支出	3,000,000
その他支出	25,079,000
当期一般正味財産増減	△ 5,680,400
一般正味財産期首残	110,000,000
一般正味財産期末残	104,319,600
基本財産	3,000,000

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
 株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

特別研修に参加して

日本消防協会が主催する第四三回消防団幹部特別研修及び第一六回消防団幹部候補中央特別研修は、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)において実施されました。

本県から参加した六名の受講者から報告がありましたので紹介します。

消防団幹部特別研修



鹿角市消防団 団長 児玉 誠 喜

一月一〇日(火)から一三日(金)までの四日間、研修に参加させていただきました。

研修では、日本消防協会の秋本会長の「講話」、そして総務省消防庁の講師による「消防行政」、「防災対策」を通して最新の消防行政の動向、施策について学びました。また、東京消防庁の講師による、「消防団実務」、「火災防ぎよ」を学び、その他「惨事ストレス対策」、「消防団活動事例」や災害情報の有効な利用を図るための「災害情報」、災害活動の向上を目的とした図上訓練の実施方法等を紹介した「危機管理」など、様々な内容の講義があり、非常に収穫の大きな内

容でした。

視察では、「東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊(通称…ハイパーレスキュー)」において、視察研修を実施し、東京消防庁でも精銳の救助隊員から大規模災害等で使用する特殊車両や救助活動用資機材等を実物に触れながら説明を受けることができ、今後、必要となる消防団による救助活動の知見を広げることができました。

研修の最終日には、研修期間中を通して六班に分かれて活発に討議してきた課題について、班ごとに発表を行いました。

私は、「大規模災害時における現場活動の問題点と団員の安全対策について」討議しました。全体で、問題意識の共有を図り、その問題への対応策や各地での最新の取り組みについて意見交換を行い、短い期間ではありましたが、地域を越え交流が図られた、非常に有意義な研修となりました。

全国の消防団幹部の皆様と交流することができたことは、大変貴重なことであり、これを糧に今後の消防団活動を頑張っていきたいと思えます。

最後になりますが、このような機会を与えていただき、関係者の皆様へ深く感謝申し上げます。研修報告とさせていただきます。

消防団幹部候補中央特別研修



北秋田市消防団 団員 皆川 高 広

今回の研修は、全国から一三三名の消防団員が参加しました。秋本会長を始めたくさんの方々の講話から消防活動をめぐる様々な課題についてお話を聞くことができ、とても有意義でした。

三日間の研修で特に熱心に取り組んだのが課題討議です。一〇班に分かれて五つの課題があり、私の班では、若年層の団員確保対策について討議しました。一三人の仲間と様々な視点から話し合い、意見交換ができたことで、とても充実した研修となりました。

今回の貴重な経験を生かし、これからは消防団活動だけではなく、消防団の発展のためにも頑張っていきたいと思っております。



八郎潟町消防団 班長 小林 玄 知

研修では、秋本敏文日本消防協会長による「講話」をはじめ、消防団全般・災害情報に関する講義、また、課題討議等の研修を行いました。

課題討議では、テーマごとに班別にわかれ、それぞれの消防団の活動状況や直面している課題等について活発な意見交換が行われ、研修の最後には班別に取りまとめた意見の発表を行いました。

今回の研修を通じて、消防団員としての幅広い視野を身に付けるとともに、全国各地の消防団員の方々と交流を図ることができ、有意義な研修となりました。これからも消防団員として、地域の安全確保のため頑張りたいと思います。



由利本荘市消防団 分団長 卯野 清 彦

全国から一三三名の消防団員の参加があり、秋田県からは三名の参加という大変貴重な研修会の参加にあたり、ご尽力くださいました関係者の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

講義の中で「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」について度々話があり、この法律が制定され、益々我々消防団の必要性、重要性、そして期待の大きさを実感させられました。

また、全国各地の消防団の方々と交流することができ、大変貴重な経験となりました。この経験を今後の

消防団活動に生かし、少しでも地域
防災の力になればと思います。



大仙市消防団
団員
佐藤 久子

全国から九四名の女性消防団員が
集まって行われた、中央特別研修に
参加してきました。

各課題について、各班ごとに討議
しました。「消防団員確保対策」で
は、どこの消防団も団員の確保が難
しく、同じ問題を抱えていること、
認知度が低いこと、活動内容がよく
わからない、また、仕事と子育ての
両立をどうしたら良いかなど、様々
なことについて意見交換することが
できました。

今回の研修で、全国の女性消防団
員の熱い思いを感じ、これからの活
動に生かしていきたいと強く思っ
てきました。



横手市山内消防団
団員
畑 しのぶ

日本消防協会の秋本会長を始め、
講師の方々から貴重なお話を聞き、
改めて消防団の重要性を感じまし
た。地域防災力の向上には、消防団
は欠かせない存在で、中でも女性消

防団の役割は重要だと思いました。
グループ討議では、女性消防団員
の確保対策について話し合いまし
た。女性消防団をもっと知ってもら

うこと、自分たちが消防団活動を楽
しみ、魅力ある消防団を作ることが
団員確保に繋がると思いました。
今回の研修で得た知識を、今後の

消防団活動に生かしていきたいと思
います。研修に参加する機会を与え
てくれた皆様に感謝いたします。

自治体消防制度 70 周年記念事業

平成29年度

消防防災科学技術賞

応募要領

■ 募集区分

▼ 消防職員・消防団員等による応募

- ① 消防防災機器等の開発・改良
- ② 消防防災科学に関する論文
- ③ 原因調査に関する事例報告

▼ 一般による応募

- ① 消防防災機器等の開発・改良
- ② 消防防災科学に関する論文

■ 応募受付期間

平成29年4月3日(月)～5月8日(月)

■ 表彰

優秀な作品には、平成29年11月に行われる表彰式において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

●一次審査を通過した作品はホームページにて紹介します。●表彰作品の公表は9月頃予定です。●詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。

作品集 募集



過去の表彰作品例



薄型軽量
エアジャッキの開発



ショアリング・
トレーニングキットの開発



データ放送
「救命処置ページ」



ウォーターサーバーから出火、
リコールに発展した事例

お問合せ先

消防庁 消防研究センター 研究企画室

TEL : 0422-44-8331 FAX : 0422-44-8440 Email : hyosho2017@fri.go.jp

消防研究センターホームページ : <http://nrfid.fdma.go.jp/>

支部情報アラカルト

「災害図上訓練(D・I・G)」の 実施について

〓秋田市消防団〓

秋田市消防団では、屋外での実践的訓練が実施しづらい冬期間に災害図上訓練(D・I・G「ディグ」)を各方面隊や分団単位で実施しています。

この訓練では、様々な想定のもと地域で起こり得る災害をテーマに大きな白地図を囲みながら、参加団員



が危険箇所をマーキングしたり、リスクを書き込むことで、地域における危険箇所を確認することができま

また、避難経路や避難場所を確認しながら訓練は進められ、事前対策の重要性を認識するとともに、住民の避難誘導について活発な意見が交わされました。

訓練には市消防本部の職員も参加し、救助技術や安全管理について情報を提供しました。地域を知る消防団が消防本部と連携した訓練を実施することは、地域防災力の更なる強化に資するものと感じていきます。



参加した消防団員は、これからの季節は山火事が多くなるので、火災予防や火の取扱いに注意するとともに、事故、怪我のない現場活動心がけ、市民の安心と安全を守りたいと誓いを新たにしました。

〔情報提供〓秋田市支部〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	3月	累計	3月	累計	年計	3月	累計
建物	14	44	15	56	191	- 1	-12
林野	0	0	3	3	32	- 3	- 3
車輛	1	7	5	6	32	- 4	1
その他	3	7	4	7	56	- 1	0
合計	18	58	27	72	311	- 9	-14
死者数	1	5	3	9	22	- 2	- 4
負傷者数	5	15	4	16	54	1	- 1

防火ポスターコンクールの 入賞作品を常設展示

平成二八年度の防火ポスターコンクールで入賞した作品を、秋田県防災学習館に常設展示しておりますので、機会がありましたら是非ご覧ください(同館は、年末年始を除き無休です。)



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕力ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp